

平成27年度事業報告書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

社会福祉法人 こばと会

あおぞら保育園

27年度 あおぞら保育園事業報告

「根拠を基にした保育」をテーマに取り組んできた成果が保育に現れてきた1年であった。特に幼児クラスでは、3クラスが協力して「感覚統合チーム」「ABC理論チーム」「カウンセリングチーム」を自主的に発生させ、内容の共有、理解の共有に励んでくれた。子どもの観察視点に同じ視点を共有したことで、クラス間の差異が縮まり、共同した保育内容に大きく発展した。例えば、年中や年少のクラス編成の柔軟さに現れ、秋ごろより横割りのクラス編成をとる時間を多くとったことで、現在の年長の人間関係の柔軟性に大きく寄与している。また、あおぞらルーム開設に伴い、新人職員が3名入職したが、研修も小形によりアイデアを含め積極的に展開され、法人の方向性に自ら積極的に関わる行動が顕著に現れてきた。乳児クラスでも、各クラスに3名の新人が配置されたが研修を通じた保育の理解に対し、積極的に指導する姿勢が現れた。「伝える」ために説明する内容をよく考え、保育の理解の伸張に大きく貢献してくれた。

年度末には、事業報告をまとめるに当たり各クラスごとにKPT表を作成し、保育をつなげる試みをはじめ導入した。KPTとは、K=KEEP(継続して行きたいこと)、P=PROBLEM(課題点)、T=TRY(改善していく点)のことで、1年かけて培ってきたものを分析し来年度に生かしていく取り組みを図表化したものである。これも、伝えるためにとても重要な要素で、一人ひとりの経験値をその人たちだけのものにするのではなく、仲間と共有するために表現する方法である。(別紙参考)

見える化を進めていくために、自分たちのやってきた流れをしっかりと継続できる体制作りは大いに生かして行きたいと考えている。

(イ)園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	10	16	20	24	25	25	120
目安定員	10	16	20	26	26	26	124
3月	10	17	20	26	27	26	126

(ロ)常勤職員 園長、副園長、主任保育士、栄養士、保健師、事務各1名
保育士17名、調理員2名 合計25名

(ハ)開所時間

11時間保育 午前7時～午後6時
延長保育 午後6時～午後10時

(2)児童の処遇

(イ) 在籍児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5才	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
4才	26	26	26	26	26	26	27	27	27	27	27	27	318
3才	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
2才	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
1才	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	193
0才	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119
合計	123	124	124	124	124	124	125	125	125	125	125	126	1494

(ロ)延長保育契約数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1時間	25	26	29	30	30	33	34	31	31	34	34	35	372
2時間	8	8	8	8	8	8	8	8	8	6	6	6	90
3時間	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39
4時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	37	38	41	41	41	44	45	42	42	43	43	44	501

(ハ)しょうがい児数及び名簿

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
K・Y(男児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
T・U(女児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
T・H(男児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
S・S(男児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(二)一時保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日	45	37	52	58	58	30	15	54	38	14	67	98	566
一日	126	120	171	202	183	116	206	165	165	159	182	223	2018
	171	157	223	260	241	146	221	219	203	173	249	321	2584

定期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用数	11	11	11	11	13	14	17	18	21	21	20	19	187

(ホ)保健管理

4月 ギョウチュウ検査

6月 歯科検診

二期 視力検査

毎月 健康診断(園医 江崎宗憲医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

乳児保育

安定して根拠を大切に子どもに向かい合う保育に依拠できた。新人職員が書くクラスに1名配属されたことにより、新人研修を下に指導する流れが明確化され、リーダーを中心に説明することの縦横製をより認識できる1年となった。

幼児保育

年々高まってきた専門性に対し、職員からの発信で「感覚統合チーム」「ABC理論チーム」「カウンセリングチーム」とチーム制での保育の浸透を計る1年となった。それぞれのリーダーには若手の職員がなり、積極的に学びを深めると共に共有を踏むため残業をいとわず、毎月継続的にミーティングを開いてくれた。今まで以上にクラス同士の連携が深まり、同じ視点で子どもに対する評価の進展に寄与してくれた。実際に年中児では、秋ごろから横割りクラスを積極的に作り、年長児に向けての意識付けや、子どもの年齢に応じた発達段階の保障を促してくれた。成果はととても芳しく、28年度当初の年長の姿に大きく表れている。

地域向け事業

① 一時保育・定期利用保育

27年度から待機児童対策の一環として定期利用保育の事業が開始された。一時保育との抱き合わせ事業であるか、週3~5の利用日数を設定し定額制で保育を行うもの。時間設定はあるが、他の保育サービスと変わらないような内容となっており、年度末には20名の利用児数になるなど、年間を通して稼動を高める良い事業となった。今までのように、月によって利用児数が大きく変動しないことは、パート職員の雇用を考えてもとても良い循環を招くものとなった。

② 子育て支援

今年度も、ノーバディーズパーフェクトプログラムを開催する。(6回連続講習×2回開催) 特に参加者の共感作用はすばらしく、協同的な仲間作りの情勢に欠かせない事業であると確信をする

研修・講習

多摩市保育協議会が設立され積極的な参加をしながら研修効果を高めるよう意図した。職場内でも、毎月の研修を行うことにより、職員同士の相互理解、0歳からの発達連続性のアイデンティティーの確立に精力を費やした。また、今年度は新人職員研修を職員の小形友宏が中心に立って運営をした。先輩職員からの指導という事で、新人もより身近に研修を進めることが出来た。

	研修名
職場研修	職場内研修 ・毎月の職員園内研修 ・新人研修
講師派遣	無
職員派遣	東京都発達研修
	南多摩保健所研修
	東京都社会福祉協議会主催研修
	多摩市保育協議会研修 (主任保育士会、栄養士会、看護。保健師会、障害児会)
	保育士カウンセラー研修
	感覚統合学会研修
	新会計基準講習会

考 察

《病欠状況》

今年度の病欠者数は 928 名と 700 名台に減少していた過去 2 年間と比べてかなり増加している。

発熱等のかぜ症候群による病欠数は例年と大きな変化はないが今年度は感染症の流行が目立っていた。水痘は5月中旬に小学生の兄弟から感染した年長児1名が発症して以降、8月まで2週間程度の潜伏期間をあけて数名ずつ発症が続いた。水痘の予防接種率は高くなってきており、罹患した園児も予防接種は受けていたが1回接種の園児を中心に感染が拡大している。2回接種で発症した園児は1名のみであったため、2回接種の効果が大きいことを、今後も入園説明会などで啓発していく。

その他の感染症も年度初めから溶連菌感染症が流行し始め、そのまま夏かぜの一種である手足口病やプール熱（咽頭結膜熱）の流行が続き、病欠数は年間で 100 名以上の増加につながった。

インフルエンザに関しては、1月・2月は兄弟間の感染のみで終わり、感染拡大なく最流行期を終えたが、3月にインフルエンザB型の大きな流行があった。年長クラスで流行開始があったため、すぐに年長クラスは他クラスとの交流がないよう活動内容と時間を考慮したことで兄弟以外はほとんど他クラスへの感染なく経過したことは良かった。しかし、クラス内感染は防げず、ほぼ全員が発症してしまったことは反省点である。

今年度はインフルエンザ予防接種率 70%以上を園の目標にしていたが乳児は 67.1%と昨年よりも 20%近く接種率があがっていたものの、幼児に関しては 59.2%と昨年よりも下がり、特に年長クラスでは 50%を下回っていた。このことも、年長クラスでの感染拡大が防げなかった要因と考えられる。来年度はインフルエンザ予防接種の開始時期に保健便りに具体的な数字を載せて予防接種勧奨をおこなっていく。

また、予防接種は感染症予防の要となるためインフルエンザのみではなく全体の予防接種の意義を伝えていけるようにしたい。

《事故報告》

今年度は 15 件の事故報告があった。内訳は怪我 10 件（歯 3 件、顔 5 件 眼 1 件、腕 1 件）と誤食、転落、誤薬、異物を鼻に入れた事故、肘内障が 1 件ずつである。

誤食に関しては、該当園児が年度途中で小麦の除去が解除になった際に提供するパンに関して再確認せず起きた事故であった。特に症状は出現しなかったため受診の必要なく経過したが、生命に関わる事由のため今後、徹底した対応ができるようにしていく。

その他重大な事故として、転落と誤薬があった。転落は0才児がオムツ交換台から落下するという、あってはならない事故である。園児に外傷や症状出現はなかったものの、保護者の希望で受診となった。オムツ交換を含む育児全般に関してマニュアルを読み合わせ、基本に忠実に、子どもの安全を第一に考えて行うことをクラスの職員、補助職員全員で再確認をした。誤薬に関しても同様に、思い込みで行動せず薬を預かる際の約束事、手順を基本に忠実に守ることを職員全員で再確認をした。毎日行っている行動に慣れて、雑な対応にならないよう、常に子どもの安全を念頭に置いて保育を行う。

その他の怪我に関しては、環境整備や、大人の見守りについての配慮が必要であるのはもちろんだが、静かにイスに座ろうとした時のけがや室内でひとり遊びをしている時にけがをしたりする場面もあった。現在行っている体幹やバランス感覚を養える、感覚統合の考え方を活かした活動の必要性が感じられた。

《発達》

今年度の身長・体重の発育は全体的に順調であった。学校保健統計調査で近年は痩身傾向があるといわれており、本園でも5年程前から2才児クラス以上はほぼ全クラスで1年間の体重増加が2kg以下になっている。ただ、今年度はどの年令も1kg台後半の増加となっており、痩身傾向の園児は1名もいなかった。

1才児クラスで4月に2名が体重97パーセンタイル以上あった。

1名は身長、体重ともに97パーセンタイル以上であったが、年度末には身長のみ90パーセンタイル以上となり、この1年間は身長に比べ、体重の伸びが大きかった。もう1名は体重増加が平均以下で年度末には90パーセンタイル以上におさまっている。ただ、2名とも肥満度は15%以上となっているため、今後も経過をみていく必要はある。

2才児クラスで低身長疑いの園児は経過をみていたが、今年度は身長の伸びが平均以上で、1年間で標準偏差が-2.1から-1.6となっている。引き続き、経過観察をしていく。

2才児で卵・乳・小麦・大豆・ゴマにアレルギーのある園児が昨年度体重の増加がゆっくりで、10パーセンタイル以下となっており食事の時にMA-1というアレルギー用ミルクを提供していた。それでも今年度の体重増加は1kg以下で3パーセンタイル以下となっている。ただ痩身傾向には入っていないため来年度も食事量や体重の伸びに注意をしていく。

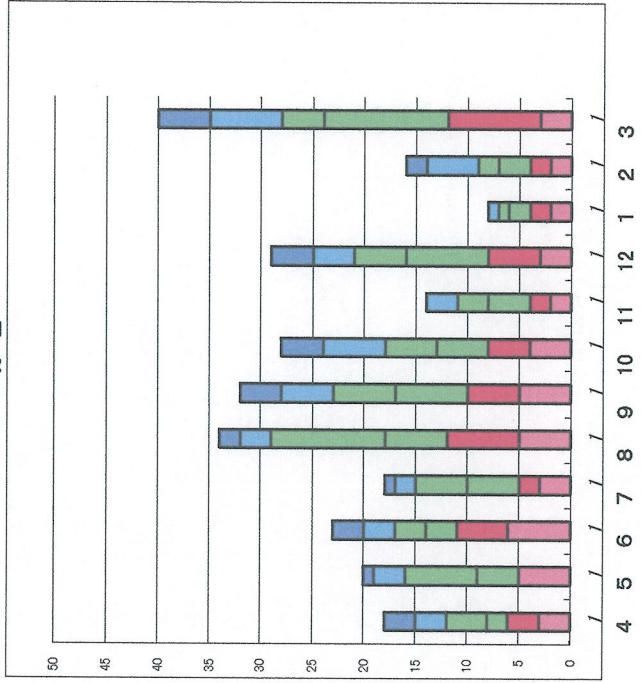
身長・体重に関しては、食物アレルギーの園児や低出生体重児など、さまざまな園児が今後も入園してくることが考えられるため、成長発達について肥満度判定曲線と成長曲線を組み合わせて、細やかに経過をみていけるように工夫を続けていく。

年度病欠状況

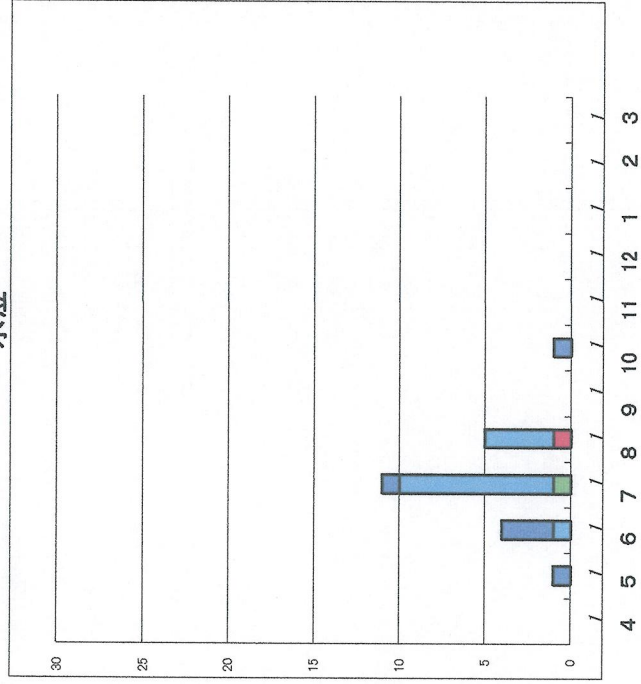
2016年5月14日

病名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
風邪	2	11	0	0	4	8	5	10	15	2	7	11	75
鼻汁	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5
咳	0	0	1	2	2	9	3	0	2	2	2	7	30
喘鳴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
邪ねつ	25	14	33	20	55	32	31	9	20	9	12	39	299
扁桃腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溶連菌感染症	5	10	6	7	2	1	0	0	0	2	4	0	37
気管支炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喘息	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	7
中耳炎	0	0	0	0	1	4	1	1	1	0	2	0	10
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結膜炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス性胃腸炎	13	5	1	4	0	0	0	0	8	1	3	0	35
突発性発疹	1	0	3	4	0	0	1	0	0	0	0	0	9
プール熱	0	0	0	0	34	9	0	0	0	0	0	0	43
手足口病	0	0	0	19	11	0	0	0	0	0	0	0	30
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水疱瘡	0	2	19	33	18	0	3	0	0	0	0	0	75
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とびひ	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
下痢	2	2	5	5	0	0	4	0	0	6	0	1	25
嘔吐	15	7	0	1	0	0	4	4	1	3	5	0	40
用心して休む	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体調が悪い	3	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯痛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
腹痛	3	0	0	1	1	1	2	1	1	1	4	0	15
通院	2	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	8
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	4	100	112
その他	1	4	3	5	23	3	1	0	1	3	1	3	48
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	74	63	86	102	152	75	58	25	49	37	45	162	928

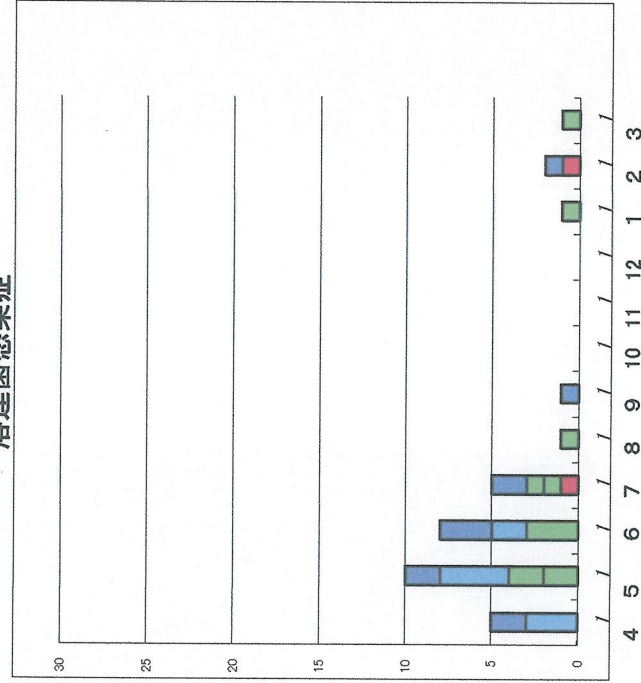
かぜ



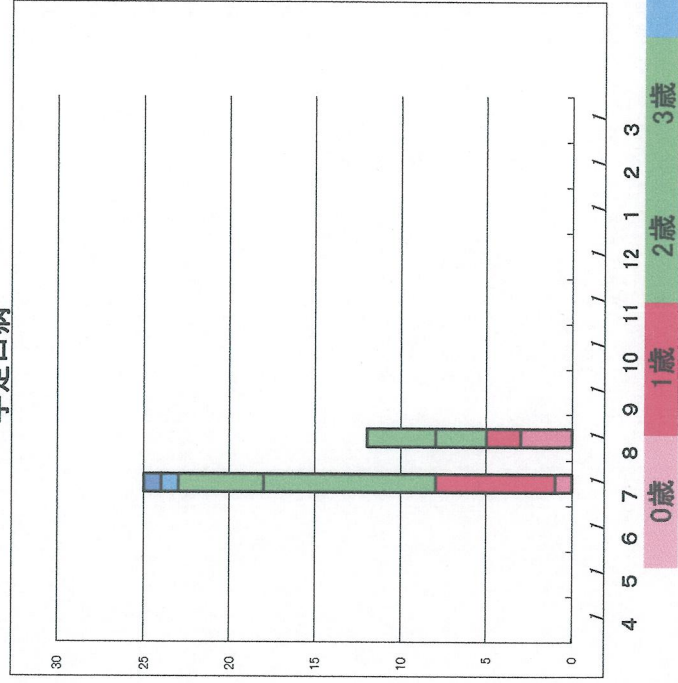
水痘



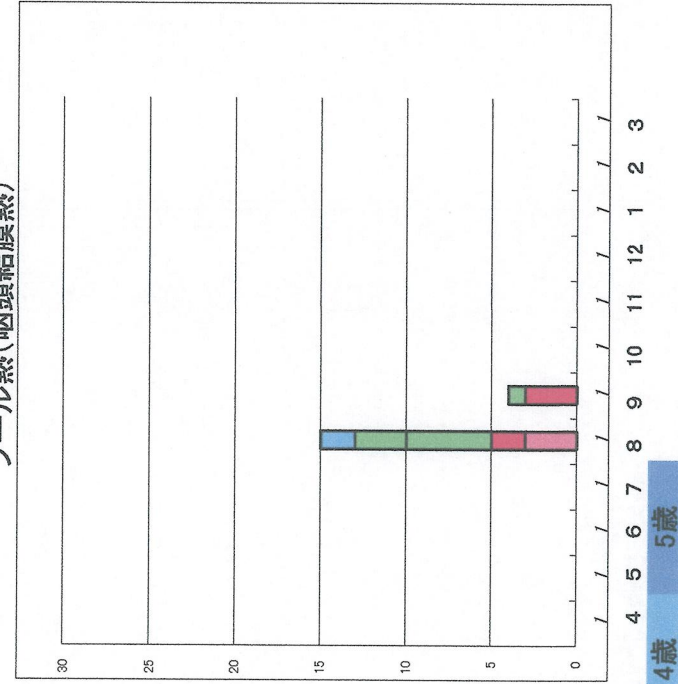
溶連菌感染症



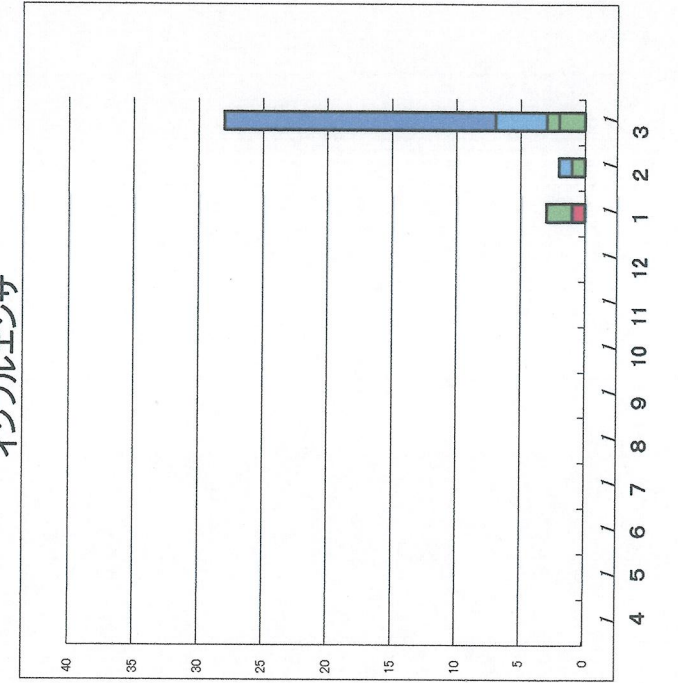
手足口病



プール熱(咽頭結膜熱)



インフルエンザ



0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳

H 2 7 年度事故・受診記録

月 日	組・年齢	時間・場所	病名等	事故内容
4月1日 (水)	りす 1才5ヶ月	16時15分 保育室	誤食	乳製品除去の児に、乳成分が含まれていることに気づかず、パンを数回提供していた。症状出現はなかった。
4月20日 (月)	きりん 4才8ヶ月	10時30分 長久保公園	歯の外傷	外遊び中、他児の頭と口をぶつける。前歯から出血あり歯科受診。固定はせず、経過観察となる。
4月25日 (土)	うさぎ 2才2ヶ月	9時30分 保育室	顔の外傷	室内遊び中バランスを崩しテーブルに左目下を打撲。冷やして経過をみたが保護者より受診希望があり2日後眼科受診。異常なしと診断される。
5月11日 (月)	ぞう 3才9ヶ月	12時30分 保育室	鼻へ異物を入れる	アイロンビーズで遊んでいて、自分で右鼻に入れ、とれなくなる。耳鼻科受診し除去する。
6月2日 (火)	ひよこ 1才2ヶ月	12時00分 保育室 トイレ	転落	オムツ交換台から転落。お尻をつき床に後頭部をぶつける。症状なかったが保護者の希望もあり脳神経外科を受診。経過観察で、受診終了となる。
6月11日 (木)	きりん 5才2ヶ月	10時25分 保育室	歯の外傷	わらべ歌遊び中に、床に顔をぶつける。上前歯から出血あり歯科受診。固定せず、経過観察となる。
6月12日 (金)	らいおん 6才	13時00分 こどもの国	歯の外傷	迷路内で走っていて、他児の頭と口をぶつける。前歯から出血あり歯科受診。レントゲンで脱臼がない事を確認。経過観察となる。
6月19日 (金)	ぞう 3才3か月	17時45分 保育室	顔の外傷	室内で走っていて転倒。棚に額をぶつける。整形外科受診。骨に異常なく消毒し、受診終了となる。
7月1日 (水)	ぞう 3才10ヶ月	12時20分 保育室	肘内障	午睡中に突然泣き出し、左手の痛みを訴える。整形外科受診。肘内障診断され徒手整復を受ける。
8月24日 (月)	らいおん 5才6ヶ月	19時50分 保育室	誤薬	昼食時2日分で預かった薬を1日で昼食・夕食時に投薬した。
10月16日 (金)	ぞう 3才5ヶ月	15時15分 保育室	顔の外傷	室内で顎を机もしくは床にぶつける。顎に裂傷ができ外科受診。皮膚接合テープで治療を受ける。

10月29日 (月)	ぞう 3才7ヶ月	11時10分 長久保公園	顔の外傷	斜面で転倒し、フェンス土台のコンクリート部分に顔をぶつける。皮膚科受診し、挫創に対して浸潤療法で治療を受ける。
11月4日 (水)	らいおん 6才5ヶ月	13時00分 保育室	眼の外傷	他児の振り上げた手が右目にあたる。眼科受診し視力・眼圧検査を受け異常なし。3日後再受診でも異常みられず受診終了となる。
12月11日 (金)	ぞう 5才2か月	17時55分 保育室	顔の外傷	イスに座る際、つこうとした手をすべらせ左顎をぶつける。外科受診。傷は浅く、消毒と軟膏塗布で終了となる。
2月18日 (木)	ぞう 4才6ヶ月	17時00分 保育室	かみつき	他児に右腕をかまれる。外科受診。傷は浅く、消毒と軟膏塗布で終了となる。

平均値	身長			体重		
	4月	3月	その差	4月	3月	その差
0歳	69.59	80.05	10.46	8.19	10.86	2.67
1歳	81.98	89.37	7.39	11.1	13.27	2.17
2歳	88.04	95.6	7.56	13.04	14.56	1.52
3歳	96.27	102.54	6.27	14.73	16.48	1.75
4歳	104.08	110.08	6	16.47	18.37	1.9
5歳	110.39	116.39	6	18.3	20.29	1.99

給食活動

献立

一汁二菜の和食系の献立を中心にした。

主食は乳児は白米・幼児は7分つき米にしている。

副菜は和え物など野菜が多めだが、子ども達は良く食べており、毎日の残食量は今年度もかなり少なかった。子どもから「今日の給食おいしかったよ」といわれる事も多く励みになっている。

下膳時に、子ども達の食べ具合などをクラスから伝えてもらうようにしているので食べ易さなど改善され、残菜の少なさにつながっていると思う。

今年度は新しいメニューや季節の食材を意識して取り入れるなどを心がけた。

行事食・年長さんからのリクエストメニュー・レストラン給食は好評であった。

ライオンレストランは、子どもたちも大変喜んでくれた。

今年度も引き続き、年長さんが毎月の誕生会メニューを順番で決めた。

張り切って話し合いながら、楽しいメニューができています。

献立表は毎月各家庭に配布している。

献立にはないが、農園へ出かけたり、特別の散歩の時など、お菓子をを用意した。

調理

誕生会のケーキカットは、今年度も引き続き行い、1年に1回の自分の誕生月を子どもたちは楽しみにしてくれた。

乳児に必要な応じて、離乳食を提供するなど個別対応した。下痢や口腔疾患なども個別に対応した。担任の判断によるが、朝食を摂ってこなかった子どもに牛乳を出した。

今年度も、国産で出来るだけ安心な食材を使うように心がけた。

時々、クラスの子どもが食べている様子を見るようにした。

衛生

今年度も、ノロウイルス・O-157等、発生が通年化しているので、徹底した手洗い・健康管理はもちろん、衛生管理がきちんと行われるようにチェック表を活用した。

食育

前年度の評価・反省をふまえた年間食育計画をたて、それに沿って進めた。

夏には、プランターで自分たちが育てたものを収穫して食べることで、野菜を喜んで食べるようになった。

野菜の苦手だった子も食べられるようになったり、毎年の事ながら関わりを持つことの大切さを実感した。

市川農園さんで掘ってきた筍の皮むきをし、味わい、成長した竹で七夕・流しそうめんを楽しんだ。

また、市川農園さんでは野菜の苗の植え付け・田植え・草取り・稲刈り・収穫を経験した。

包丁を使う調理クッキングは5歳児のみ行った。前年度に引き続き、3グループに分かれて

少人数で行ったので、飽きることなく調理に親しむ事ができた。

自分たちで収穫した米でごはんを炊いた。5歳児は、秋頃から当番を決めて自分たちで炊いたごはんを食べる事を日々の中で行った。

5歳児には給食室の中に入って見学してもらった。

給食を作っている様子や調理器具等を見て、子どもたちは興味津々な様子だった。

給食室をより身近に感じ、食にたいして興味を持ってもらえる良い機会になった。

4歳児はグリンピース・空豆などの皮むき・野菜をちぎって食べたり絵に描いたり五感で感じる活動をした。少人数のグループで短時間に楽しくできた。

咀嚼が上手になるように、食べる煮干を用いて咀嚼の練習をした。

アレルギー

アレルギー児13名に、卵・牛乳・小麦・ごま・大豆・魚のアレルギー食を提供した。

お家の方からも、子どもが美味しいと言って喜んでいると言われていて励みになっている。

会議

月1回給食会議を開き、献立の検討・食育の取り組み・クラスとの連絡等話し合うことで、クラスと給食室との連携をとっている。

0オクラスとは、月一回連絡会を持ち、子ども一人ひとりの離乳食の進め方について話し合っている。

給食室の研修会議を月1回行い、業務の改善をめざしている。

防災対策

非常食は、子どもと職員の分を3日分用意している。

東日本大震災の時には、交通機関が止まり保護者が迎えに来れず、保育園に泊まった子どももいて、非常食の必要性を痛感した。

非常食で必要なもの、多めに買っておいたほうが良いもの等、器具や道具など揃えたり具体的にする。

(ト)安全管理

毎月 避難訓練

(チ)保護者会

4月 9月 2月

(リ)一日体験入園

10月～2月 参加者

(ヌ)行事

4月	入園式、保護者会	11月	コンサート(くにさん・みかちゃん)
5月	遠足(年長:小山内裏公園)	12月	クリスマスバイキング
6月	交通公園見学	1月	新年子ども会
	保育参観開始(随時)		子ども会
	歯科検診	2月	節分
	お泊り会		保護者会
7月	プール開き	3月	ひな祭り
	七夕		お別れ遠足
	夕涼み会		卒園式
9月	防災引渡訓練	進級	
	保護者会		
10月	運動会		
	一日体験入園		
	遠足		
	ハロウィン		

毎月の行事

誕生会・アート指導・お茶の稽古・

(3) 職員の待遇

(イ) 健康管理

- ・健康診断 (田村クリニック)
- ・検便 給食担当者、O才担任・・・毎月2回
全職員 検便・・・4月、10月

(ロ) 労務管理

- ・社会保険に加入
- ・退職金(福祉医療機構・東京都社会福祉協議会に加入)

(ハ) 待遇

- ・就業規則により処遇

(ニ) 福利厚生

- 職員検診、細菌検査など
- 歓迎会、送迎会等の食費補助等

(ホ) 職員の動き

- ・採用 4月 高橋真咲
西陸明奈
米本美希
- ・異動 4月 網田琢 あおぞらルーム
加瀬田さや香 あおぞらルーム

(ヘ) 固定資産購入

固定資産取得費				
	図書管理システム	108,000		
	給与メール配信システム	453,600		
	パンダ、O、幼児吊棚	594,000		
	防災用自転車	226,800		
	乾燥機	172,800		
	小計	1,555,200	小計	0
	合計			1,555,200